

見つけた！ 前橋市の野生動物



20mの距離で遭遇したツキノワグマ(体長約1mの成獣)。2時間クルミを食べていた(粕川町室沢)



前橋市の有害鳥獣担当者。前橋市農政課農林課東部農林事務所 酒井常夫さん、瀨間伸二さん、須田芳久さん(左から) 市民編集委員 金子(左)坂本(右)

クマさんに出会った。そんな時は——。県庁所在地の前橋でも、予期せぬ出来事は起りうる。街中では想像できない。自分たちの住む市には、どんな野生動物がすみ活動しているのだろうか？ 最前線で働く職員に聞いてみた。担当は市民編集委員・金子信司 坂本美樹

問い合わせは 東部農林事務所 ☎027-285-4116

イノシシ急増、前橋にも野生動物はいる！

左頁のサルの勇姿をご覧あれ。人家の屋根の上で、丸ごとカボチャを頬張っている。ハロウィンを楽しんでいるかのように。これも前橋市での出来事。

合併後の大きくなった前橋では、野生動物の目撃地点も増えた(左図参照)。特にイノシシが、ここ5〜6年急増。それまでの3〜5倍の目撃情報が市に寄せられている。目撃があれば、農作物の被害も出る。根菜を掘り起こされた後に動物の足跡だけが残っている。イノシシは芋を食べるので、土を掘る習性がある。写真のトウモロコシのように飼料用作物をきれいにたいらげ、時には畑ごと、台風の後のように食べ荒らされたトウモロコシ

前橋市で目撃される代表的な野生動物

<p>ニホンジカ 杉、ヒノキの皮をきれいに剥いで食べる。クリ、ドングリ不作の年に下りてくる</p>	<p>アライグマ 外来種。ブドウ、キウイが好き。鳴き声で苦情が出る</p>	<p>ハクビシン 外来種。古い民家や廃屋にすみつくことがある</p>
<p>イノシシ 川沿いに出る。集団で畑を根こそぎ倒していく</p>	<p>タヌキ 河川や林地、住宅地にも出没し、夜間にごみ捨て場をうろつく</p>	<p>※他にも、キツネ、テン、イタチ、ノウサギ、シマリス、ムササビ、ニホンカモシカなどの鳥獣類が見られる。絶滅のおそれのある種もいる</p>

作物を横倒しにし、2〜3反を真っ平らにしてしまうことも。酪農業の経営打撃が大きく、営農意欲をそぐ問題となる。



シカに剥がされた跡(粕川町中之沢)

国道353号周辺で見られる！

畜産試験場から赤城クローネンベルクへ抜ける国道353号、その北のからっ風街道周辺では、クマ、サル、イノシシ、シカなどが目撃されている。夜間にはシカの顔が5〜6頭も並ぶ自然の光景を見られること

も。また、市内全域でハクビシンやアライグマ、タヌキの目撃がある。毎年5〜6件は大型野生動物の飛び出しによる夜間の交通事故があるとのこと。◆マークを見かけたら、運転に注意しよう！

危険と隣り合わせの農林事務所の仕事

東部農林事務所では、クマなどの目撃情報で出勤。大型おりなどを用いて捕獲している。猟銃は流れ弾が心配なので、人家の近くや道路では撃たない。わなにかかった動物を止め刺しする時のみに使用している。小型のおりはハクビシン用。約30基を備え、市民からの連絡に応じて

前橋市の野生動物の目撃地点 (平成26年度)

イノシシ	100件	イノシシ	114頭
ニホンジカ	6件	ニホンジカ	93頭
ハクビシン	6件	ハクビシン	38頭
アライグマ	2件	アライグマ	9頭
ツキノワグマ	11件	ツキノワグマ	1頭
ニホンザル	5件	タヌキ	0頭
タヌキ	2件	合計	255頭
その他	9件		
合計	141件		



人家のそばまでくるハブザルは雄であることが多い(西大室町)

出動・設置している。くくりわなにかかったイノシシを3日も放置すると、足を引きちぎって逃げることも。3本足でも生きている。わなにかかると穴を掘り、辺りをすり鉢状にして、疲れ果てて寝ている。それでも人を見ると飛びかかってくる。危険と隣り合わせの現場だ。野生動物を見かけたら通報をお願いします。住所・名前・連絡先・いつ・どこで・何を見たのかを。クマ、サルの場合は小中学生の登下校にも影響する。

増える野生動物への市の対策

20年くらい前まで、前橋市ではシカ、イノシシ、アライグマはあまり見かけなかったとか。市外からも移

編集後記

自然の中で人間に一番近い動物・植物は、時に人間社会に潤いと癒しを与えています。しかし、今回の取材で農家への被害などの実態を知りました。日頃の職員の皆さんの頑張っている姿にあらためて敬意を表したいと思います。(金子)

東部農林事務所の職員は、人間界に迷い込んだ、生きようとする力と向かい合う毎日。ひと仕事ごとに、まず自分たちの安全を確認し合う習慣とか。油断ならぬそうです。(坂本)

